

3 歳 児

<子どもの保育目標>

保育士との信頼関係に支えられ、身近な友達や自然等の環境に積極的に関わり、意欲をもって活動する。

<養護> 生命の保持

ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人の子どもが、快適に生活できるようにする。 ② 一人一人の子どもが、健康で安全に過ごせるようにする。 ③ 一人一人の子どもの生理的欲求が、十分に満たされるようにする。 ④ 一人一人の子どもの健康増進が、積極的に図られるようにする。
保 育 士 が 行 う 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ① <ul style="list-style-type: none"> ・登園時の健康観察や子どもの様子の把握を日々必ず行い、家庭での食事や睡眠などについて保護者から情報を得る。 ・常に体の状態・機嫌・食欲などの観察を十分に行い、変化が見られた時は適切に対応する。 ・不適切な養護の早期発見・児童虐待への対応など、子どもの人権を守る視点からも日々の心身の健康状態の確認や継続的な把握、記録を行う。 ② <ul style="list-style-type: none"> ・保育士は子どもの疾病についての理解を深める。 ・子どもの周囲の環境を点検し、衛生的な環境への細心の注意を払う。 ・子どもの発達の過程や特性を踏まえ、一人一人の子どもの行動を予想し、起こりやすい事故を想定しつつ環境に留意して事故防止に努める。 ・子どもの活動を保障し、子どもにとって安心安全な環境維持及び向上を図る。 ③ <ul style="list-style-type: none"> ・明るさ・温度・湿度・音などについて常に配慮する。 ・保育士は応答的に関わりながら、食欲や睡眠などの生理的欲求を満たしていく。 ・送迎時の保護者との会話や連絡帳、懇談会などを通し、積極的に家庭との情報交換を行い、子どもの一日の生活全体を考慮して、食事・睡眠・休息・遊びなどが無理なく営まれるようにする。 ④ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を見通し、全身を使う運動を適度に取り入れ、それぞれの状態に応じた活動を十分に行う。 ・生活リズムに合わせ適度な休息をとることができるようにする。 ・静と動のバランスを配慮して、保育の内容に柔軟に取り入れる。 ・友達と一緒に食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。 ・基本的な生活習慣の習得については、急がせることなく、一人一人の子どもの様子をよく見て適切な時期に適切な援助をしていく。


<養護> 情緒の安定

ね ら い	<p>① 一人一人の子どもが、安定感をもって過ごせるようにする。</p> <p>② 一人一人の子どもが、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。</p> <p>③ 一人一人の子どもが、周囲から主体として受け止められ、主体として育ち、自分を肯定する気持ちが育まれていくようにする。</p> <p>④ 一人一人の子どもがくつろいで共に過ごし、心身の疲れが癒されるようにする。</p>
保 育 士 が 行 う 事 項	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの心身の状態や発達過程を的確に把握し、それぞれの子どもの欲求を受け止め子どもの気持ちに寄り添う。 ・優しいまなざしや態度で関わる。 ・温かなやり取りやスキンシップを心がける。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの気持ちを汲み、適切に応答する。 ・子どもと向き合う中で、自らの思いや願いを子どもに返していく。 ・生活の中で互いに認め信頼し合う関わりを通して、生涯にわたる人との関わりの基盤となる基本的な信頼感を培う。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自発性や探索意欲が高まるような環境を計画的に構成し、保育士は見守り共感しながら励ましたり必要な助言を行ったりする。 ・人と物との出会いの中で芽生える様々な感情や考え、多様な体験の過程を保育士が見守り受け止めることによって、子どもの自己肯定感を育む。 <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活全体を見通し、家庭と協力しながら心身の状態に応じて適切に援助していく。 ・静かで心地よい環境の下で、子どもが心身の疲れを癒すことができるようにする。 ・子どもの家庭での就寝時間に配慮して、午睡の時間帯を工夫し、柔軟に対応する。

3歳児 <教育> 健康

<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲をもって活動する。 ・ 基本的生活習慣が確立する。 	
<p>内 容</p>	<p>保育士が配慮すべきこと</p>
<p>○ 様々な食べ物を進んで食べようとする。</p>	<p>【おいしく 楽しく みんなで】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士や友達と一緒に、同じものを食べる経験を通して食事が楽しいと思えるようにする。 ・ 一人一人の食べられる量や好みなど、子どもの姿を肯定的に受け止め食べようとする意欲を育てる。 ・ 子どもが食に関わる活動を取り入れ、食に対する興味や関心を育てる。 ・ フォークや箸などの食具については、家庭と連携して正しい持ち方を知らせる。 ・ 器に手を添える、話し声の大きさに気を付けるなど、食事のマナーを伝える。 ・ 行事食などを通して、季節や文化を伝えていく。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>野菜でクッキング</p> </div> </div>

<教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 午睡など適切な休息をとる。</p>	<p>【一人一人に目を向ける】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人に目を向け、傍で見守ったり触れたりしながら安心して眠れるようにする。 午睡や休息の意味を知らせることで、自ら体を休めようとする気持ちを育てていく。 動と静の活動をバランスよく取り入れ、休息が適切にとれるようにする。 長時間の保育を配慮して、室内環境を工夫しくつろげる場所を用意する。 室内の明るさに配慮し、子どもの健康状態が分かるようにする。 睡眠時の安全を確認するために、睡眠観察表に記録することが望ましい。 <div style="text-align: center;">  <p>くつろぎスペースでゆったり</p> </div>
<p>○ 自分でトイレに行き排泄する。</p>	<p>【自分でできるよ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の状況により、保育士が時間を見て誘いかけたり、自分からトイレに行くのを待ったりして、「自分でできた」ことを認めながら、自信や意欲を育てていく。 失敗した時には、自尊心やプライバシーに配慮した対応を心がけ、意欲を損なわないように接する。 排泄の後始末やトイレのマナー、立ち便器の使い方など、場面を捉えて知らせ手助けしながら身に付くようにする。

<教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 衣服の着脱を自分でする。 (手助けを受けながら)</p>	<p>【自分でやりたい、やって欲しい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分でやりたいという意欲と、時には手伝って欲しいという気持ちを認めながら、自分で着替えることが習慣づくようにする。 衣服の前後、左右、表裏、ボタンのかけ違いなどに気付いていけるように知らせる。 保育士と一緒に衣服をたたんだり袋に入れたりしながら、始末の仕方が身に付くようにする。 保育士との温かな繋がりの中で、適切な援助を行い自分で着替えようとする気持ちを育てる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>○ 戸外で十分に体を動かし、様々な遊具や用具などを使った遊びを楽しむ。</p>	<p>【こんなこともできるよ！】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な運動機能や全身のバランスをとる能力が発達し、体の動きが巧みになる時期なので、くぐる・よじ登る・ぶら下がる・はうなどの動きを楽しませながら、体をコントロールする力を育てる。 子どもの発想を大事にし、挑戦できるようにしながらも、危険の認識が不十分で能力以上のことをしようとする時期なので、様々な状況を予測してすぐに対応できるようにする。 様々な活動を楽しむ中で心や体を十分に動かし、楽しかったという充実感や満足感が味わえるよう、子どもの興味に合わせた環境を整える。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<教育> 健康

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 保育士の言葉かけにより危険なことや場所が分かる。</p> <p>※ 災害時の対応</p>	<p>【繰り返し、繰り返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険なことや場所などについて、機会を捉えて具体的に分かりやすく伝えたり、見通しをもたせたりして、子ども自身が理由を知って気を付けることができるように手助けしていく。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 子どもの発想を受け止めながらも安全に </div> <ul style="list-style-type: none"> 職員は慌てずに状況判断をし、職員同士声をかけ合いながら、子どもの安全確保をすると共に、安心させるような表情や声かけ、スキンシップを心がける。 子どもにダンゴ虫のポーズや、笛の合図で集まるなど、自分の身を守る方法を知らせていく。 避難訓練や起震車体験等を通して、自分の身を守ることの大切さを知らせる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>

3歳児 <教育> 人間関係

<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な人と関わり友達と遊ぶことを楽しむ。 ・ 生活の中できまりがあることを知り簡単なきまりを守る。 	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身近な人と関わり友達と遊ぶことを楽しむ</p>	<p>【けんかもするけれど、友達が好き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士は、一緒に楽しく遊びながら子ども一人一人が十分に思いを發揮できるようにサポートしていく。 ・ 好きな遊びや興味をもった遊びを、小さい集団で楽しめるよう保育士が仲立ちをしていく。 ・ 自己主張のぶつかり合いはあるが、一人一人ありのままの気持ちを受け止めながら自分で気持ちを切り替えたり立て直したりできるよう援助する。 ・ 気の合う友達と一緒に遊ぶ中で、気持ちの食い違いや自我のぶつかり合いを経験しながら、相手の思いに気付くようにしていく。必要に応じて保育士が仲立ちとなり、相手の気持ちを伝えていく。 ・ 異年齢児との関わりを通して、憧れや遊びへの意欲を引き出し、同年齢では味わえない楽しさを体験できるようにする。 <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>保育士の見守りと仲立ちのもとで</p> </div>

<教育> 人間関係

内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 生活の中できまりがあることを知り簡単なきまりを守る。</p>	<p>【みんなの約束】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「かして」「いれて」など、集団生活に必要なきまりを場面に応じて繰り返し伝えていく。 ・ 子どもが待っている時には、「〇〇ちゃんの次ね」「△△が終わってからやろうね」などの言葉をかけ、見通しをもたせて子どもの気持ちを支える。 ・ きまりを守り大人に認められる経験を積み重ねて、きまりを守ることが気持ちよいことを味わわせ、自己コントロールの力を育てる。 <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">     </div>

3歳児 <教育> 環境

<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物や自然事象に触れ親しみ、興味や関心をもつ。 	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<p>○ 身近な動植物、自然事象に触れ親しみ、興味や関心をもつ。</p>	<p>【見たい・触りたい・試したい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水・砂・土・雨・雪・氷・光・影・雲などの変化に気付くような遊びを取り入れて、興味や関心を引き出す。 自然と触れ合う機会をつくり、なぜ、どうしてと子どもが心を動かされる場面を見逃さないようにする。 好奇心旺盛で、生き物への関わり方が適切でないこともあるが、試したいという子どもの気持ちを肯定的に受け止め、命の大切さに気付くことができるようにする。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>あきのそらをみてみよう</p> <p>どんな空があるかな</p> <p>～けんせきうん～ ～けんうん～ ～うろこくも～ ～さばくも～ ～いわしぐも～</p> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>心を動かされるきっかけづくり</p> </div>





<教育> 環境

内 容	保育士が配慮すべきこと
○ 経験したことや身近な人々の生活を取り入れたごっこ遊びを楽しむ。	<p>【見る力・まねる楽しさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが身近な人の生活を見ることや真似ることを通して、生活の仕方に興味や関心がもてるようにする。 子どもが実際に体験したことを再現して遊ぶ姿を見守りながら、遊びが広がるような遊具や素材の準備をし、保育士と一緒に楽しむ。
	
○ 自分の物と人の物との区別を知り、共同の物との区別にも気付く。	<p>【自分の物とみんなの物】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が独占したいという気持ちのコントロールが難しい時には、気持ちを受け止めながらも、繰り返し自分の物と共同の物の区別について知らせていく。 保育士自身が物に愛着をもち、大切に扱っている様子を示していく。 マークの使用や収納の仕方の工夫により、自分の物、友達のもの、共同の物が分かりやすく片付けやすい環境にする。
	
○ 色・数・量・形などに興味をもち、違いに気付く。	<p>【会話や遊びの中で】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の会話や遊びの中に、色・数・量・形などを意図的、計画的に取り入れることで、楽しみながら違いに気付けるようにしていく。
○ 行事に参加したり伝統的な遊びに親しんだりする。	<p>【身近な文化や伝統に親しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 節分やひなまつりなど伝統的な行事に参加し、身近な文化や伝統に親しむ。

3歳児 <教育> 言葉

<ねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、保育士や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 	
内 容	保育士が配慮すべきこと
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活に必要な言葉がある程度分かり使える。 ○ 絵本や物語などを見たり聞いたりして、その内容や面白さを楽しむ。 ○ 自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、保育士や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 	<p>【表情から言葉へ ～言葉で考える力の芽生え～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士が手本となるような言葉遣いを心がけ、おはよう、ありがとう、ごめんねなど生活に必要な言葉を知らせ、使えるように援助していく。 ・ 子どもの思いや意志に添いながら、その子なりの言葉を受け止め、気持ちや場面に合った言葉を引き出していく。 ・ 自分の話を十分に聞いてもらう経験を通して、伝わる喜びを味わえるようにし、保育士や友達の話の聞こうとする気持ちを育てる。 <p>【物語の世界に入り込んで楽しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本や物語は子どもがイメージしやすく繰り返しのあるものを選び、保育士と一緒に物語の世界を楽しめるようにする。 ・ 子どもが見て聞いて感じたこと、発言したことを見逃さず受け止め、共感してごっこ遊びや劇遊びに繋げていく。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 大好きな絵本の世界を再現する </div> <p>【伝わる楽しさ 面白さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の気持ちや思いがうまく言葉で伝えられない時には、保育士がその心情を読み取り言葉に置き換えることで、伝わる楽しさが感じられるようにする。 ・ 子どもの気付き、発見、驚きなど心動かされる場面を受け止め、子どもの発した言葉に共感し応答する。 ・ 手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、言葉遊びなどを通して保育士や友達と共に、言葉のリズムの楽しさ、面白さを十分に味わえるようにする。 ・ 場にふさわしくない言葉を使った時には、使いたい気持ちを受け止めつつ、場に応じた言葉遣いを具体的に知らせていく。

3歳児 <教育> 表現

<ねらい> ・ 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、想像力を豊かにする。	
内 容	保育士が配慮すべきこと
○ 身の回りの様々な物の音・色・形・手ざわり・動きなどに気付く。	<p>【触りたい、知りたい、もっとやりたい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもがいろいろな物に興味や好奇心をもち、満足するまで試すことができるよう環境を整える。 ・ 泥んこ遊び・水遊び・氷作り・雨・風など様々な自然に触れる機会をつくり、変化や違いを感じとれるようにしながら子どもの気付きを見逃さずに受け止め、保育士や友達と一緒に面白さを共有する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
○ 感じたことや思ったことを描いたり歌ったり、体を動かして表現する。	<p>【イメージの世界を楽しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが体験し感じたこと想像したことを、描画や製作、歌、リズム遊び、楽器遊びなどで自由に表現できるような環境を整える。 ・ 生活の中で体験したことを再現し、イメージを広げながらごっこ遊びができるように様々な用具・素材を準備し、表現する楽しさが味わえるようにする。 ・ 子どもの発想を見逃さず、その子なりの表現を受け止め、興味や関心を引き出し活動に楽しく参加できるようにする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
○ 身近な素材や用具を使って遊ぶ。	<p>【楽しそうだからやってみよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な素材や、はさみ・のりなどの身近な用具を使い、子どもの表現したいことが形にできるよう援助していく。 ・ 素材や用具を実際に使う場面を通して、その物の扱い方、使い方を知らせる。